

**第146回 病態生化学セミナー**  
新興感染症ワクチン・治療用抗体研究開発センター共催

日時：令和6年2月28日（水曜日） 17時00分～

場所：医学部実習棟 3階 P3 講義室

演題：精神疾患の病態機序の解明を目指して  
Toward the understanding of pathological  
mechanisms of psychiatric disorders

演者：竹本 さやか 先生  
名古屋大学環境医学研究所  
ストレス受容・応答研究部門 教授



近年、次世代シーケンサーの発展により精神疾患リスク遺伝子の解明が進んでいる。我々は特に神経発達症のリスク遺伝子であることが示唆された、カルシウム依存的シグナル伝達経路を構成する遺伝子の変異に焦点を当て、変異のもたらす分子機能への影響を解明し、独自に開発した病態モデルマウスを用いて病態機序の解明を目指した研究を推進している。本セミナーでは、これらの病態モデルマウスの研究を中心にこれまでに得られた知見を紹介し、精神疾患の病態機序解明へのアプローチを議論したい。

【竹本 さやか】

連絡先：

浦野 健

島根大学 医学部 病態生化学

TEL 0853-20-2126

E-mail turano@med.shimane-u.ac.jp

博士課程選択必修科目：基礎医科学(D3)、臨床腫瘍学総論(D2)

博士課程選択科目：細胞生物学I(D6)、組織・器官系の構造と機能 I (D8)、  
老化 I (D19)、腫瘍生物学 I (D24)、理工医学のための生物材料学(D103)

医科学専攻(修士課程)選択科目：

腫瘍の発生・増殖とその制御 (M23)、理工医学のための生物材料学の基礎 (M33)

を履修している学生は、できる限りこのセミナーに出席してください。